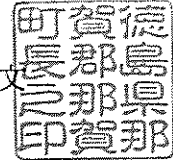


那賀総第23号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

那賀町長 坂口博文



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について
(平成19.4.2国道企第114号に対する回答)

貴職から依頼のありました「中期的な計画の作成に当たっての今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見」を、別添のとおり提出します。

中長期的な計画作成にあたっての意見

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

- ① 現在の都心周辺道路、特に徳島県の状況はバイパスが完成してもその渋滞が解決していない。その理由として交差点の計画が信号による対応のみを考慮した計画であり立体交差による改良が皆無である。こうしたことから、バイパスの整備の際は信号及び車線増加による対応でなく特に渋滞区間は立体交差による方法等を重点的に検討すべきである。
- ② 高速道路の整備は、ネットワークが繋がって初めて効果がでるものと思います。
- ③ 地方の道路整備で特に安心・安全な道路が要求される。災害時に緊急車両が通行できない道路は安心できないため、緊急な対策をすべき箇所から順次対応すべきである。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきことについて

- ① コスト削減が必要。現在の改良工事の工法は、既定の一律の工法を採用されている感があるが、その箇所現状にあった工法を採用すべきである。又、新技術の採用の場合、技術料・特許料のコストがかかりすぎるのではないか？検討を要すると思います。
- ② 事業評価は、徹底すべきあり、途中段階からでも路線、工法を変更することも必要。
- ③ 高速道路の料金システムは、改善を要すると思います。

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関することについて

少子高齢化による地方の状況は一段と深刻であります。地球温暖化対策を可能にするのも資源に恵まれた地方の役割が重要視されます。そうした中で地方で暮らす我々にとって緊急時の医療施設への早急なアクセス道路の確保と日常生活に欠かせない基幹道路の整備無くして地方の活性化を考えることが出来ない。道路特定財源の見直しに関する具体策の中で「道路歳出を上回る税収は一般財源とする」ことについては、地方の道路整備財源についても特段の配慮の上、決定をしていただきたい。

以上のとおり、ご意見を申し上げ回答させていただきます。

徳島県那賀郡那賀町長 坂口 博文

